第７回第６期芽室町総合計画

審査特別委員会会議記録

開閉会日時	令和８年１１月１７日（火曜）　　午前９時３０分　開会			
	休憩　9:41-9:42, 9:43-9:44　10:06-10:07			
	会議時間　３６分　　午前１０時０９分　閉会			
会議場所	３階本会議場			
出席委員氏名	委員長　鈴木　健充	委　員　渡辺洋一郎	委　員　伊藤　稔	
	委　員　西尾　一則	委　員　堀切　忠	委　員　菊池　秀明	
	委　員　常通　直人	委　員　橋本　和仁		
	委　員　中村　和宏	委　員　中田智惠子		
	委　員　早苗　豊	委　員　小笠原　等		
	委　員　立川　美穂	委　員　木村　淳彦		
欠席委員氏名	副委員長　正村紀美子			

説明等に出席した者の氏名	政策推進課長	有澤　勝昭	健康福祉課長	森　真由美
	政策調整係長	大石　秀人	健康福祉課長補佐	杉山　真理子
	総務課長	佐々木　快治	環境土木課長	中村　宗紀
	総務課参事	松久　哲也	生活環境係長	平山　亮輔
	危機対策係長	佐藤　光	教育推進課長	佐々木　雅之
	魅力創造課長	我妻　修一	教育推進係長	林　宏明
	魅力創造課長補佐	渡邉　浩二	生涯学習課長	江崎　健一
	魅力創造係長	矢野　貴士	社会教育係長	中島　華子
	都市経営課長	橋本　直樹	スポーツ環境係長	梅森　祐之
	建築住宅係長	安田　久美		
事務局職員	事務局長　石田　哲	総務係長　竹川　恭史	総務係主査　大石真澄	

『会議に付した事件と会議結果など』

１　開　会

・委員長が開会を告げ、正村紀美子委員から欠席の申出があったことを報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

委員長：第６期芽室町総合計画実施計画案については、第６回特別委員会で行った修正箇所の審査を踏まえ、修正しなかった箇所について町から一括説明を受けた後、ページごとに質疑を行う。国土強靭化については一括説明後に質疑を行う。まち・ひと・しごと創生総合戦略についても、位置付けを含めた一括説明後に質疑を行う。全ての質疑終了後、説明員退席後に委員間の自由討議を行う。この進め方で異議ないか。

（異議なし）
・委員長：異議なしと認め、審査事項に入る。

2　議　件
（1）審査事項
ア　第6期芽室町総合計画　実施計画案について　資料1
委員長：資料の説明を求める。
政策推進課長：政策調整係長から説明する旨を述べる。
政策調整係長：資料の説明
各委員：質疑なし
委員長：以上で「第6期芽室町総合計画　実施計画案」の質疑を終了する。

イ　国土強靭化について　資料2
委員長：資料の説明を求める。
総務課長：国土強靭化は、国土強靭化基本法に基づき、自治体においても計画策定に努めるものとされている。本町では総合計画の一項目として位置付けている。第6期総合計画の策定に合わせて見直しを行うものであり、北海道の計画変更に関連する修正が主な内容である。資料13ページ「4 強靭化に向けた取組」の説明文中、「災害に強いまちづくり計画を踏まえ」の部分は、同計画が令和2年度で終了しているため削除をお願いする。修正後は、「取り組むべき事業については、毎年度策定する実行計画に反映させていきます。」とする。危機対策係長から説明する旨を述べる。
危機対策係長：資料の説明
各委員：質疑なし
委員長：以上で「国土強靭化ついて」の質疑を終了する。

ウ まち・ひと・しごと創生総合戦略について　資料3
委員長：資料の説明を求める。
政策推進課長：政策調整係長から説明する旨を述べる。
政策調整係長：資料の説明
立川委員：資料1ページ、総合計画と総合戦略は目的や政策範囲が異なるため、基本的には単独策定が適切と認識している。総合計画から施策を抽出する方式により、人口減少対策としての総合戦略の独自性や10年間の視点をどのように担保するのか。
政策調整係長：他町の事例も参考に、現在の総合戦略と同様の構成とし、重要施策及びKPIを記載する。総合計画冊子の中に、総合戦略としてのページを新たに設ける考えである。
立川委員：資料2ページ、1年間の計画延長は単に計画期間を延ばすものか。それとも、地方創生2.0の方向性や人口動態の変化を踏まえ、施策・KPIも見直すのか。
政策調整係長：施策内容の見直しは行わない。指標については、総合計画で目標値を設定しているものはその数値を用い、設定のないものは最終年度に見直して数値を

設定する。
立川委員：資料 3 ページ、総合戦略は人口減少対策を推進する基本計画であるため、人口の社会増減、年齢別・男女別の転出入など、人口動態を直接把握する指標を設定する考えはないか。
政策調整係長：各施策の KPI 達成状況は、毎年度、庁内評価及び総合計画審議会で評価している。その中で、人口動態や人口減少対策としての状況を検証しているため、新たな指標設定は現時点で考えていない。
立川委員：資料 4 ページ、総合戦略と総合計画で同じ成果指標でも目標値が異なるものがある。新嵐山スカイパーク利用者数は、令和 11 年度の戦略目標値が 35 万人、令和 12 年度の総計目標値が 15 万 4 千人となっている。設定根拠を伺う。
政策調整係長：総合戦略の目標値は、新嵐山スカイパーク再生計画により見込んだ利用人数を基に設定した。総合計画の目標値は、プレオープン後に実際の利用人数が見えてきたことを踏まえて設定したものと聞いている。
立川委員：性別に関係なく社会進出できるまちだと思う割合について、令和 11 年度の戦略目標値は 90%、令和 12 年度の総計目標値は 80%となっている。10 ポイントの差が生じた理由を伺う。
政策調整係長：総合戦略の 90%は第 5 期総合計画の目標値を参考に設定した。基準値 60.3%から数値は上昇しているが、90%の達成は難しいと判断し、第 6 期総合計画では 80%を目指す目標値とした。
立川委員：資料 7 ページ、総合計画の 33 施策と総合戦略の 16 重要施策が対応付けられている。地方創生に直接寄与する施策を選定した基準と、今後もこの対応表を基本として施策を抽出する考えか伺う。
政策調整係長：今後の重要施策の抽出は、国の地方創生の考え方に基づいて行う。地方創生 2.0 の考え方にある、都市・地方がともに楽しく安心安全に暮らせる持続可能な社会の実現などの方向性を踏まえ、芽室町総合計画の施策と関連付くものを抽出する。
委員長：ほかに質疑はないか。
各委員：なし。
委員長：以上で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略について」の質疑を終了する。

（2）自由討議
委員長：自由討議はあるか。
立川委員：総合計画と総合戦略の整合性について確認した。計画期間の調整や策定方式については理解した。総合戦略は人口減少対策を目的とする計画であるため、総合計画から施策を抽出する方式となる場合でも、地方創生としての重点化や効果検証が十分に行われることが重要である。議会としても、様々な機会を通じて効果を検証していく必要があると考える。
委員長：ほかに意見はあるか。
各委員：意見なし
委員長：意見はないものと認め、自由討議を終了する。

3 その他

（1）次回の委員会開催日程について

委員長：次回委員会の日程は、委員長・副委員長一任でいいか。

各委員：異議なし。

委員長：異議なしと認め、次回委員会は、正副一任とすることに決定する。

（2）その他

委員長：各委員からの発言を求める。

各委員：なし。

委員長：議長からの発言を求める。

議長：なし。

委員長：事務局からの発言を求める。

事務局：なし。

委員長：以上をもって本日の委員会を終了する。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議　員	0名	合計	1名

令和8年11月17日

第6期芽室町総合計画審査特別委員会

鈴木　健充